

科目名	医療事務(医科) IB-①						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	高田 稲田 中島 土屋		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	病院・診療所において医療 事務として勤務		
対象学科・学年	医療秘書・事務科1年生 診療情報管理士科1年生						
授業概要	日本保険医療事務協会主催 診療報酬請求事務能力認定試験の資格取得を目指す。基礎知識となる医療保険制度、算定条件を把握する。診療報酬請求におけるレセプト作成の必要性・重要性を認識し、作成能力を獲得するために点数表の読解力を身につけ問題集等で繰り返し演習を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					カルテより診療報酬を算出し120分以内で明細書を2枚作成できるようになる(外来、入院)	
	○					医療保険制度、算定条件等の理論問題20問を60分で12問以上正解できるようになる	
	○					点数表の構成を理解し、使いこなせるようになる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・医科診療報酬点数表(医学通信社)・医科テキスト1・2・3(ソラスト)・医科サポートブック(ソラスト) ・受験対策と予想問題集(医学通信社)・医事関連法の完全知識(医学通信社) 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1.2	夏季休暇 課題解説 外来復習 確認テスト 外来、学科					
	3.4	入院復習					
	5.6	入院復習					
	7.8	入院復習					
	9.10	入院復習					
	11.12	入院復習					
	13.14	入院復習					
	15.16	確認テスト 入院 財団過去問題①外来、学科前半					
	17.18	財団過去問題①学科後半、入院前半					
	19.20	財団過去問題①入院後半					
	21.22	財団過去問題②外来、学科前半 学科後半					
	23.24	財団過去問題②学科後半、入院前半					
	25.26	財団過去問題②入院後半 中間まとめ外来					
	27.28	中間まとめ入院 学科 質疑応答					
	29.30	確認テスト 外来、学科、入院					
評価方法	(1)授業の中で確認テストを3回実施する。(2)授業中の態度、参加状況も併せて評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認テスト		◎				70%
	出席状況・発表				○		30%
履修上の注意	忘れ物の貸し出し、プリントの再配布はしません。注意してください。						

科目名	医療事務(医科) IB-②						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	高田 稲田 中島 土屋		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	医療秘書・事務科1年生 診療情報管理士科1年生						
授業概要	日本保険医療事務協会主催 診療報酬請求事務能力認定試験の資格取得を目指す。基礎知識となる医療保険制度、算定条件を把握する。診療報酬請求におけるレセプト作成の必要性・重要性を認識し、作成能力を獲得するために点数表の読解力を身につけ問題集等で繰り返し演習を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					カルテより診療報酬を算出し120分以内で明細書を2枚作成できるようになる(外来、入院)	
	○					医療保険制度、算定条件等の理論問題20問を60分で12問以上正解できるようになる	
	○					点数表の構成を理解し、使いこなせるようになる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・医科診療報酬点数表(医学通信社)・医科テキスト1・2・3(ソラスト)・医科サポートブック(ソラスト) ・受験対策と予想問題集(医学通信社)・医事関連法の完全知識(医学通信社) 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～3	財団過去問題③					
	4～6	財団過去問題③ ④					
	7～9	財団過去問題④					
	10～12	財団過去問題④ 中間まとめ学科 外来					
	13～15	中間まとめ入院 第1回模擬試験(14,15)					
	16～18	模擬試験解説 財団過去問題⑤					
	19～21	財団過去問題⑤ 次回より直前対策期間					
	22～24	直前対策1回目					
	25～27	直前対策2回目					
	28,29	第2回模擬試験(28,29)					
	30～32	直前対策3回目					
	33～35	模擬試験解説 中間まとめ					
	37～39	直前対策4回目					
40～42	直前対策5回目						
43～45	直前対策6回目 総まとめ						
評価方法	(1)授業の中で模擬試験を2回実施する。(2)授業中の態度、参加状況も併せて評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験						
	模擬試験		◎				70%
	出席状況・発表				○		30%
履修上の注意	忘れ物の貸し出し、プリントの再配布はしません。注意してください。						

科目名	病院管理B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	中嶋 翔平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科 1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度、療養担当規則、医療関連法規、公費負担医療の基本知識の習得 ・12月の診療報酬請求事務能力認定試験合格のための知識を習得 						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				3法についての概要を理解する(健康保険法・高齢者医療確保法・医療法)	
		○				療養担当規則、医療関係法規を理解する	
		○				公費について理解する	
		○				保険制度の概要を理解する(保険の種別)	
	○				診療報酬請求事務認定試験 医科の合格		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーテキスト ・医科診療報酬点数表 ・医療保障制度テキスト 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～5	医療保障制度のテキストの解説 (医療保険制度、療養担当規則、公費負担医療等の解説及び小テスト)				教科書に目を通しておく	
	6～9	医科診療報酬点数表の解説 (点数表を用いて、より詳細に療養担当規則、診療報酬の算定方法等の解説及び小テスト)				前回の授業の振り返りをしておくこと	
	10～15	セミナーテキストの解説 (診療報酬請求事務能力認定試験の学科対策及び総まとめ)				前回の授業の振り返りをしておくこと	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				80%
	小テスト・実技テスト	○	◎				10%
	課題提出状況	○	◎				5%
	授業への取り組み				◎		5%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	コンピュータ概論								
科目名(英)									
単位数	5単位	時間数	76時間	担当者	勝見令子				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	診療情報管理士科 1年								
授業概要	<p>経済産業省が認定する国家資格「ITパスポート」に合格するための対策授業。 (ストラテジ系で出題される範囲を理解する。) 医療情報技師育成部会が認定する「医療情報基礎知識検定試験」に合格するための対策授業。</p>								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>					テクノロジー系で出題される範囲を理解し、1000点満点中300点をクリアできる。			
	<input type="radio"/>					医療情報基礎知識検定試験で出題される範囲を理解する。			
	<input type="radio"/>					ストラテジ系で出題される範囲を理解し、1000点満点中300点をクリアできる。			
	<input type="radio"/>					マネジメント系で出題される範囲を理解する。			
テキスト・教材 参考図書	FOM出版 よくわかるマスター ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集 2019年度版								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1 から 10	第10章 表計算 医療情報基礎知識検定試験対策				授業中に説明する「よく出題される重要キーワード」を丸暗記するだけではなく、テキストの文章すべてに目を通し、理解を深めること。			
	11 から 20	第1章 企業と法務				授業中に説明する「よく出題される重要キーワード」を丸暗記するだけではなく、テキストの文章すべてに目を通し、理解を深めること。			
	21 から 30	第2章 経営戦略 第3章 システム戦略				授業中に説明する「よく出題される重要キーワード」を丸暗記するだけではなく、テキストの文章すべてに目を通し、理解を深めること。			
	31 から 38	第4章 開発技術 第5章 プロジェクトマネジメント				授業中に説明する「よく出題される重要キーワード」を丸暗記するだけではなく、テキストの文章すべてに目を通し、理解を深めること。			
評価方法	前期末に実施する「定期試験」の結果および日頃の授業態度により総合評価を行う。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		90%		
	小テスト	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		10%		
	宿題・レポート								
	発表・作品								
履修上の注意	出席が26回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。								

科目名	Windows演習(Excel基礎)						
科目名(英)	Windows						
単位数	4	時間数	60時間	担当者	田丸 順子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科 1年						
授業概要	正確で早いタイピングを身につける 表計算ソフトExcel2013の基礎的技能を習得する 表計算処理技能検定3級を取得する						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			手元を見ずに、正確で早いタイピングができる。	
		○				ワークシートにデータの入力・編集・削除、表やオブジェクトに書式の設定ができる。	
		○				数式や関数を使って計算式の作成ができる。	
		○				データを基に的確なグラフを作成し、グラフ要素の追加や編集ができる。	
	○				レコードの並べ替えや抽出ができる。		
テキスト・教材 参考図書	Excel2013クイックマスター (ウィネット) Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集 (サーティファイ)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	タイピング練習 Excelの基本、データの編集	16	タイピング練習 3級問題集 練習問題1	1 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	2	タイピング練習 データの編集(2)	17	タイピング練習 3級問題集 練習問題2	2 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	3	タイピング練習 課題作成	18	タイピング練習 3級問題集 練習問題3	3 学習した内容を復習しておくこと		
	4	タイピング練習 表の編集(1)	19	タイピング練習 3級問題集 練習問題4	4 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	5	タイピング練習 表の編集(2)、課題作成	20	タイピング練習 3級問題集 練習問題5、練習問題6	5 学習した内容を復習しておくこと		
	6	タイピング練習 ブックの印刷	21	タイピング練習 3級問題集 練習問題6、練習問題7	6 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	7	タイピング練習 グラフと図形の作成(1)	22	タイピング練習 3級問題集 練習問題8、練習問題9	7 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	8	タイピング練習 グラフと図形の作成(2)	23	タイピング練習 3級問題集 練習問題9、練習問題10	8 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	9	タイピング練習 課題作成	24	タイピング練習、試験プログラム説明 3級問題集 模擬問題1、模擬問題2	9 学習した内容を復習しておくこと		
	10	タイピング練習 ブックの利用と管理	25	タイピング練習 3級問題集 模擬問題3、模擬問題4	10 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	11	タイピング練習 関数(1)	26	タイピング練習 3級問題集 模擬問題5、模擬問題6	11 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	12	タイピング練習 関数(2)	27	タイピング練習 3級問題集 サンプル問題	12 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	13	タイピング練習 データベース機能(1)	28	タイピング練習 過去問題	13 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	14	タイピング練習 データベース機能(2)、総合学習問	29	タイピング練習 過去問題	14 テキストの該当範囲に目を通しておくこと		
	15	タイピング練習 中間課題作成	30	Excel3級検定試験	15 学習した内容を復習しておくこと		
評価方法	(1)授業の中で中間課題を1回実施する。(2)課題は解答後提出する。(3)検定試験を実施する。(4)平常点として出席や忘れ物状況、授業への参加意欲を成績評価に加味する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	検定試験	○	◎	○			60%
	中間課題	○	◎	○			20%
	課題提出	○	○	○	◎		10%
	平常点				◎		10%
履修上の注意	個人のデータは各自のUSBに保存するので、毎回必ず持参すること。						

科目名	接遇演習 I B							
科目名(英)								
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本美和子			
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○			
対象学科・学年	診療情報管理士科1年							
授業概要	基本的なビジネスマナー、医療従事者にふさわしいマナーを身に付ける。							
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		実技: ○ ※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)		知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					正しい敬語を使うことができる。		
			○			好感を持たれる立ち居振る舞いができる。		
	○					豊かなコミュニケーションができる。		
テキスト・教材 参考図書								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	授業ガイダンス、自己紹介						
	2	好感を持たれる挨拶・表情・身だしなみ						
	3	言葉遣い・敬語					日常生活において、実践	
	4	医療従事者としてのホスピタリティとは						
	5	好感と信頼を得る話の聞き方、話し方					日常生活において、実践	
	6	報告・連絡・相談 重要性と仕方					日常生活において、実践	
	7	敬語・表情を意識して、クラスメートをプレゼン						
	8	受付ご案内・見送り						
	9	名刺交換						
	10	お茶の入れ方						
	11	電話の受け方						
	12	電話のかけ方						
	13	電話・ロールプレイング						
	14	ビジネス文書						
	15	後期授業の振り返り						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題への取り組みの姿勢 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○					
	小テスト							
	宿題・レポート							
	発表・作品		○		◎			
履修上の注意	2/3以上の出席が無い場合は単位未取得となる。							

科目名	医療概論/人体構造・機能論/臨床医学各論Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	片伯部・小嶋		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科1年						
授業概要	医学と医療に関する歴史の変遷を知った上で、医療の現状を理解すること(1章)人体の基本的仕組みを系統的に理解すること、その働きを学び、生命の「いとなみ」の基本を理解する(2章)、血液・造血器、栄養・代謝、内分泌系統の障害により、病態が全身に関わる各疾病について、それらの特徴と症状・所見、診断法、治療法等を学ぶ(6章)						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○				社会保障制度の枠組みの原則と実態を知り、関連法規の知識を得て医療の社会的役割を総合的に理解する		
	○				器官、臓器が構成要素であるような細胞、組織から成り立ち、いかに他の器官と連携をもち、機能的にどのような連携作業をして、人体としてのいとなみに関わっているか理解する		
	○				血液・造血器、栄養・代謝、内分泌系等の障害により、病態が全身に関わる各疾病について理解をする		
テキスト・教材 参考図書	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	医療概論－人間の生命にかかわる科学・医療の分科と統合			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	医療概論－医学の起源・古代の医学			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	医療概論－中世の医学・近世の医学			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	医療概論－二十世紀の医学・わが国の医学と医療の歴史			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	医療概論－現代医療・医の倫理			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	医療概論－社会保障制度			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	医療概論－医療制度			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	医療概論－医療法と医療計画			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	医療概論－地域保健と公衆衛生			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	医療概論－予防医学			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	人体構造・機能論－細胞			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	人体構造・機能論－組織			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	人体構造・機能論－器官			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	人体構造・機能論－呼吸器の構造と機能			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	人体構造・機能論－呼吸器の構造と機能			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	人体構造・機能論－循環器の構造と機能			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	人体構造・機能論－循環器の構造と機能			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	人体構造・機能論－消化器の構造と機能			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	人体構造・機能論－泌尿器の構造と機能			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	人体構造・機能論－上肢・下肢の骨と筋肉			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	血液・代謝・内分泌等－栄養貧血・溶血性貧血			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	血液・代謝・内分泌等－無形成性貧血およびその他の貧血			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	血液・代謝・内分泌等－凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病態			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	24	血液・代謝・内分泌等－血液および造血器のその他の疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25	血液・代謝・内分泌等－免疫構造の障害			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	26	血液・代謝・内分泌等－甲状腺障害			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	27	血液・代謝・内分泌等－糖尿病			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	28	血液・代謝・内分泌等－その他のグルコース調節及び隣内分泌障害			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	29	血液・代謝・内分泌等－栄養失調、その他の栄養欠乏症			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	30	血液・代謝・内分泌等－肥満症およびその他の過栄養・代謝障害			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業態度・意欲 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		◎		100%
	小テスト						
	宿題・レポート 発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	臨床医学総論／臨床医学各論Ⅰ・Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	小嶋 伸夫		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科1年						
授業概要	病気の原因、病態、診断、治療、予防、予後などについて学ぶ(3章)感染症の原因となる細菌、ウイルスなどについての知識を習得する(4章)新生物の発生組織・臓器、良性、悪性・原発性、転移性等新生物の概要を理解する(5章)						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					病気の原因、病態、診断、治療、予防、予後などについて学び、知識を習得する	
	○					感染症の原因となる細菌、ウイルスなどについての知識を習得する	
	○					新生物の発生組織、臓器、良性・悪性、原発性、続発性、転移性等新生物の概要を理解する	
テキスト・教材 参考図書	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～3	臨床医学総論－病気になる原因				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4～7	臨床医学総論－先天奇形、変形および染色体異常				前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8～10	臨床医学総論－損傷、中毒、その他の外因の影響				前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11～15	臨床医学各論Ⅰ－感染症および寄生虫症				前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16～20	臨床医学各論Ⅰ－感染症および寄生虫症				前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21～30	臨床医学各論Ⅱ－悪性新生物				前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業態度・意欲 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		◎		100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						